

～周りの人を愛でクリスチャンにしよう～

福音伝道のコツ

周りの人の心を開く、愛に基づく伝道！！

クリスチャン 精神障害者

ラピス+

福音伝道のコツ ～周りの人を愛でクリスチャンにしよう～

はじめに

みなさん！ こんにちは！！

私は伝道がうまくなりたいと思い、自分なりに努力しました。

そして、ノンクリスチャンだった方と一緒に祈ったり、

ギデオン協会の聖書を配ったりすることができました。

しかし、教会に実際に通うようになった人は私の知る限り見たことがありません。

よって、これは入門者用、初級編と言ったところでしょうか。

伝道してその人がだんだんと信じていくところを見るのはとても面白いです。

この楽しい伝道が生きがいとなりますように。

私は切に願います。

アーメン。

1. 人を認める

2. 聖なる人と見る

3. 勇気を出して

4. 御言葉の解き明かし

5. 熱意をもって

6. 口より耳、聞くことの伝道

7. 趣味を持つとう

おわりに

1. 人を認める

まず、人を肯定的に見ていくことが大事です。

これは意識しないと私はできません。

意識して人を認めていく。

愛の心で。

自分と反対の意見もだいたい認めていく。

反対過ぎて、肯定できなくなる場合もあります。

その場合も人を認める姿勢は崩さないように。

崩して否定的になると、伝道のわざは何歩も後退します。

何かを否定しているものには、否定的になってもいいと思います。

新共同訳は意識しすぎてるんじゃないかとか。

1回、「仏教で救われる人もいるだろ」って言われて、

私は「最終的な救いは、イエス・キリストを信じてから」って言ったんだけど、

何回も何回も言って、結局伝道のわざは1歩も2歩も後退しました。

「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」

使徒言行録4：12

とあるように、キリストの御名の他に救われる名は私たちにはありません。

ただ、

「すると、彼らも答えます。『主よ。いつ私たちは、あなたが空腹であったり、渴いていたたり、旅人であったり、裸でいたり、病気をしていたり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったでしょうか。すると、王は彼らに答えます。『まことに、おまえたちに言う。おまえたちがこの最も小さい者たちの一人にしなかったのは、わたしにしなかったのだ。』』」

マタイ25：44にあるように、貧しい人、病気の人、病気の人はキリスト御自身であると思えば、仏教を熱心にやって、救われる人もいるのではないかと思うようになりました。

つまり、人を認めていくっていうのは、ほぼすべて認めてOKってこと。

反対意見が出て、そうかもね、そうかもしれないね、ぐらいで言っても大丈夫ということ。

仏教をやってるって言っても、キリストと一緒に仏教を信じればいいので、

「仏教をしながらでもいいんですよ」って言えるってこと。

話し方にもコツがあって、優しく、その人が受け入れられるように気を使って話すということ。

疲れちゃうのでは？と心配されると思いますが、多少は疲れますが大丈夫です、慣れます。

その人の宗教的価値観を認めていくのがとても効果的。

仏教なら仏教、神道なら神道、アニミズムならアニミズム、これらも認めていけば大丈夫。

受け入れるのも、だいたい受け入れてもOKだけど、

自分が傷ついちゃう時もあるから、そこは線を引いた方がいいと思います。

が、私はもう、仏教も神道も受け入れてしまいました、

全然問題ないってことです。

それでも私はプロテスタントのクリスチャンだし、仏教徒にも神道の人にもなってないってことです。

神様の愛って偉大ですね！！

2. 聖なる人を見る

これも少し大事かな。

「すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。」

ペテロ 12 : 17

すべての人を自分よりも優れた人とする……。

尊敬の念をもって接する……。

結構、難しいことです。

へりくだって、自分を低く、その人を聖なる人であるとする。

「神のことばを受けた人々を神々と呼んだのなら、聖書が廃棄されることはあり得ないのだから」

ヨハネ10：35

とあるように、聖書の御言葉を語った人は神々、神様の子供として見るということが大事です。

神様の子供であるから、聖なる人と見ても問題ないでしょう。

聖なる人と見ることで尊敬もできるし、聖化も進みます。

聞いてくれない人には、まず愛と祈りから始めましょう。

神様は私たちを愛してくれているのです。

3. 勇気を出して

私は、精神病院に入院してる時が一番伝道できました。

精神病院は一日中、そこの同じ患者さんと一緒に暮らすので、伝道がしやすかったんでしょう。

ただ、精神病院では、布教活動は禁止です。

それでも、私は食堂に新改訳聖書を持って伝道に行きました。

「万物を彼の足の下に置かれました。」神は、万物を人の下に置かれたとき、彼に従わないものを何も残されませんでした。それなのに、今なお私たちは、すべてのものが人の下に置かれているのを見てはいません。」

ヘブル2：8

を信じ、人は皆、イエス様に従わなければならないと信じてそこで伝道しました。

してみると、不思議と看護師さんにも褒められ、「伝えてくれてるんだね」とか言ってもらえま

した。

何の妨げもなく、そこで楽しく福音を宣べ伝えていました。

役に立ったのはスピーカー付きMP3プレーヤーです。

精神病院は娯楽が少ないため、私のMP3を聴いてくれました。

賛美歌だけだったら、あんまり聴いてくれなかったかもしれない。

ただ、一般の曲も混じっていたから、長く聴いてくれたんだと思う。

賛美歌もいっぱい聴いてくれてうれしかったです。

入院していたころはもう大切な思い出です。

あの頃を思い出し、また伝道に励みたいです。

4. 御言葉の解き明かし

人に信じてもらうには、”御言葉の解き明かし”が非常に効果的です。

そして、新改訳聖書。口語訳でもいいと思います。

聖書の言葉、御言葉はそのままで難解なため、解き明かしが必要です。

解き明かしをするのに、必要なことは信じる気持ちです。

その御言葉をちゃんと信じてみて、初めてその御言葉は解き明かされるのです。

例を挙げてみましょうか。

「むしろ、あなたがたを召された聖なる方に倣い、あなたがた自身、生活のすべてにおいて聖なる者となりなさい。」

ペテロ 1 : 15

やっぱり俗悪なことはしてはならない。世に染まってはいけない。世の汚れから逃れなければならない。イエス様に関係すること、義の実に満たされて生活しなくてはならない。ただ、福音のためにニュースを見るくらいはする。遊んだりするのは控えなくてはならない。

となります。

こうやって解き明かすと人はすんなり入ることができ、福音を受け入れやすくなります。

是非、いろいろな御言葉を解き明かして、預言の賜物を磨きましょう！

主は私たちを招いていてくださいます。

その愛に応えましょう。

5. 熱意をもって

どうしても、自分の熱意より下の熱意になる人が多いので、

自分の熱意は高めていきましょう。

もちろん、私より熱意があって、信仰に富む人ができれば、言うことはありません。

熱意を生み出す御言葉はこれです。

「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」コリント 14 : 1

愛は伝道に欠かせません。愛は勇気です。そして、預言の賜物はいついかなる時にも自分の身を助けます。

聖霊によって語りましょう。それが預言です。

私たちは預言者なのです。

神様の愛によって、築き上げられましょう。

私たちは神様の作品なのですから（エペソ 2：10）

6. 口より耳、聞くことの伝道

話しをあんまり聞いてくれない場合があると思います。

主の祈りを教えてあげたいけど、聞いてもくれない！！

そういうときはまず、聞き手に回ること。

相手の話を肯定的に聞いて、たくさん聞くと相手がだんだん心が開いてくるので、

聞いてもらえるチャンスも出てきます。

私は聞きに徹して、その人に主の祈りを教えたか、他のことを教えたと思います。

福音のことを聞いてくれなくなったら、聞きに徹して祈る。

これが大事だと思います。

7. 趣味を持つ

適度な趣味は福音の伝道にプラスです。

音楽を聴いたり、本を読んだり。

私はMMD（ミクミクダンス）見たり、ゲームをすることも好きです。

賛美歌を初音ミクに歌わせたりすると伝道のわざも広がりますよね！！

自分なりのスタイルを見つけてください。

人生、楽しく、ですね！！

おわりに

何よりも”愛”が大事です。

人を受け入れる愛、祈る愛、与える愛、これが大事です。

ちょっとくらいはめをはずしてもいい。

大事なことは、福音のためにすべての事をするという意識です。

「私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みをともに受ける者となるためなのです。」

コリント19：23

福音のためになるようにいろいろなことを最善を尽くしたいです。

この本があなたのお役に立てることを切に願います。

ここまでお読みくださりありがとうございます。

また、どこかで出会えますように。

私は祈ります。

アーメン。

聖書 新改訳 ©1970, 1978, 2003 新日本聖書刊行会

聖書 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会

あずきフォント